

会員だより

新年会(初御輿)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も会員会社皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

支部だよりの当社寄稿依頼が正月となりましたので今回のテーマは当社の新年会をご紹介します。

新年会は毎年一月四日に本社一階駐車場にて開催いたします。

社員全員での写真撮影の後、神棚への安全ご拝礼を済ませてから会式に入ります。

会式では、一月一日を全員で合唱や、役員で三味線による新年古典伴奏、社是社訓唱和、年頭挨拶を行い決意を新たに新年会を執り行います。

新年会の食材は毎年決まって臨時水産部調達のアカジン、アオリイカを使用し鍋料理を振舞います。昨年末は悪天候が続きましたが何とか間に合いました。

臨時水産部調達のアカジン・アオリイカを社員へ振る舞い一年間の英気を養い安全第一を社員全員で確認し今年の仕事初め(初御輿)となります。

今年 卯年(2023年)社会全体がぴよんぴよん飛び跳ねるような明るい年になりますようお願いしております。

【開発事業部 町田智恵美】

株式会社 基土木 代表取締役 仲宗根 貢



▶アカジン



▶アオリイカ

会員だより

建設DXを通じた魅力発信

会員の皆様こんにちは。今回は、弊社の建設DX推進事例を用いた、担い手育成活動について紹介します。

建設業界では、ICT・BIM/CIM活用等を用いた業務効率化・省人化等に関わるDX推進は、避けずは通れない事と認識しています。

奇しくもコロナ禍によりリモート環境が浸透し、時間・コスト削減による残業抑制、技術習得機会による生産性向上、クラウド等の効果的運用で社員のエンゲージメント向上にも繋がっています。又、これらの環境構築は、変革した建設業界の魅力を伝え、未来の建設技術者・担い手育成活動の為に必要不可欠だと思います。

弊社では、現場見学会や企業説明会において、DX推進事例や効果の紹介、レーザースキャナやドローン等のICT機器操作、VR・AR体験を通じ、教育機関と学生及び建設業就職希望者へ、変革する建設業の魅力発信を精力的に行っています。

こういったDX体験に参加した学生のほとんどが、新しい技術を目の当たりにし、キラキラと希望に満ちた瞳をしているのがとても印象的で、建設業の

株式会社 屋部土建 代表取締役副社長 名嘉 康悟

未来は明るいという気持ちにさせてくれます。今後も建設業の魅力を伝え、担い手が増えていけるような活動を行っていききたいと思います。

【土木DX推進室 室長 比嘉 忍】



▶BIM/CIM活用工事(受注者指定)



▶レーザースキャナ操作体験



▶現場3DモデルのVR体験



▶3Dモデル施行ステップ動画視聴

活動報告・トピックス

令和5年新春道路講演会・懇談会

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部は1月13日那覇市のザ・ナハテラスで新春道路建設講演会、懇談会を開催しました。講演会には会員約40名が参加し講師には沖縄総合事務局の畠中秀人次長が「沖縄振興と社会資本整備」と題して講演が行われました。

講演内容は、1. R4補正・R5当初予算2. 最近の情勢3. 沖縄の観光施策と観光客の動向4. 沖縄の発展に向けた社会資本整備5. 建設分野の担い手確保の取組みについて6. 建設資材の価格高騰への対応について というものでした。

講演会後、開かれた懇談会には会員や関係者約60名が参加し、与那嶺支部長の冒頭の挨拶、続いて畠中次長、沖縄県土木建築部の島袋善明部長が来賓祝辞を述べた後、沖総局開発建設部の内里清一郎技術企画官の音頭で乾杯しました。

その後、参加者は新年の挨拶を交わし、談笑して懇親を深めました。



▶畠中次長の講演



▶与那嶺支部長挨拶



▶島袋部長挨拶



▶懇談会の状況

第197回道路美化・清掃活動

令和5年最初の清掃活動



1月17日(火)10:00から今年最初の道路美化・清掃活動を曇り空の少し肌寒い中18社25名の参加で行われました。今回は、初詣などがあったせいか、いつもより、多いゴミの量でした。

今年も清掃活動頑張りましょう。

今月の予定

- ①コンプライアンス講習会
2月9日(木)10:00~11:30
沖縄県市町村自治会館
- ②第198回道路美化・清掃活動
2月21日(火)10:00~11:30
- ③第2回常任幹事会
2月28日(火)12:00~13:30
支部会議室

舗装管理技術者・舗装診断士試験

(一社)日本道路建設業協会は2023年度1級・2級舗装施工管理技術者資格試験と舗装診断士資格試験の実施要領を発表しました。

受験申込は2月10日(金)から受付、沖縄での受験も可能となっています。

詳しくは、同協会のホームページをご覧ください。

編集室から/Y.S

『ホエールウォッチング』

沖縄では毎年冬場になると出産するために暖かい海を求めて沖縄の慶良間諸島近海にやってくるザトウクジラの群れ、最大級の哺乳類であるクジラを間近な距離で観察できるツアーがあります。

ツアーでは体長約15m、体重約30tともなる巨大クジラや運が良ければ赤ちゃんにも遭遇することもあります。

遭遇率は90%を超える確率だと言われています。圧倒的な迫力と感動を味わえるホエールウォッチングに行きませんか。

私も一度行って観ましたが、船酔いの記憶しかありません・・・。

